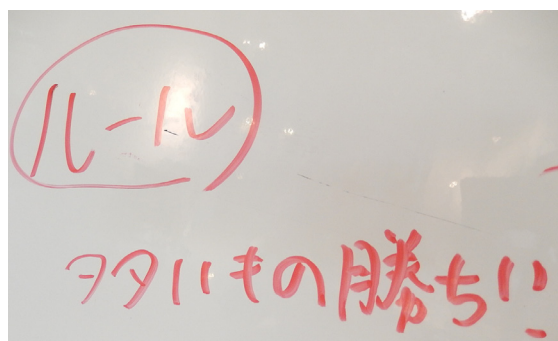


# 10 どうする？ カルタ大会



## ■最終校正を実施

10/15 (木) 10時～12時半

場所：埋蔵文化財センター 参加人数：7名

前回の課題だった、文章校正。各自チェックし10/15に持ち寄りました。当日は事務局担当が不在(団体見学の対応)だったので、ワークショップメンバーで進行し話し合ってもらうことにしました。

結果42個もの間違いや、確認した方がよい内容などを発見。細かなところまで意見交換ができたようで、基本すべての漢字にふりがなをつけるが、「年月日」だけは例外にするなどの意見もありました。

## ■カルタ大会の内容を考える

10/22(木)・10/29(木) いずれも10時～12時

場所：埋蔵文化財センター

参加人数：7名(10/22)、6名+中学生3名(10/29)  
来年1月の発行にあわせて開催する「カルタ大会」を企画するための話合いです。誰に、どんな遊びで楽しんでもらうのか？そもそもなぜカルタ大会をするのか？を意識しての話合いです。当初の予定では、3回の話し合いと考えていましたが、皆さんの「前のめり」な話し合いの結果、2回の話し合いで企画にまとめました。詳しくは以下をご覧ください。

## 誰でも楽しめるカルタ大会！

事務局が、2日間の開催日(1/9と1/23)を提示したうえで話し合いを始めました。うち、一日はカルタ大会、もう一日はカルタ以外のあそびでのカルタ大会をできたらと考えると、そのシナリオに沿って進めようとした事務局なのですが…皆さんからの意見は「誰でも一緒に楽しめるようにしよう！」との意見。誰でも楽しめる大会にすることで、より多くの人にとって楽しみながら泉南市の「ええとこ」を気づききっかけ作りをしようというものです。

## 泉南中学校の2年生と考えました！

このカルタで可能な遊びは3種類。カルタのほかに、「せんくまジャンケン」、「花笑み・せんなんめくり」です。ルールと遊び方は、職業体験に来ていた泉南中学校2年生3人と、実際に遊んでみながら考えてみました。

## かなり楽しめるカルタ

カルタは、5人程度で遊ぶのがちょうどいいようです。句の頭文字と、絵札のカナが一緒なので、あっという間に勝負がつきます。1ゲームに10分程度というところでしょうか。本番では、まず1回練習してから、競技を行うことに。いきなり本番だと、「あんまり楽しくない」といった中学生の意見からです。読み札の句を読み上げるのは、ワークショップメン

バーがすることになりました。

## 進行役(ディーラーみたいな人)が必要

大会では、ワークショップのメンバーが「カジノのディーラー」みたいにテーブルについて進行役をすることにしました。ルールを説明する方法として、①紙にまとめて読んでもらう、②口頭で説明するなどの方法があるのですが、教えてくれる人がいればもっとスムーズに楽しめるからです。誰が勝ちなのか、ルールはどうか、瞬時に判断すると、ゲームに集中でき楽しく遊べます。



札を配ったり、ルールを教えてくれる進行役がいれば、プレイヤーがゲームに専念でき、楽しめます



「せんくまジャンケン」のマーク。  
わかりにくい!との意見から、オレンジ色に変更です。

### 5、6人で遊べる「せんくまジャンケン」

「せんくまジャンケン」は、絵札の裏に描かれたジャンケンマークをつかったあそび。ゲー、チョキ、パーの絵がそれぞれ描かれた札と、3つとも描かれたもの(オールマイティ)の4種類をつかいます。

まず出た意見は「ジャンケンのマークが見えにくい」との意見。事務局の判断で、薄いグレーにしていたのですが、変更となりました。大きさと位置、色を中学生3名に決めてもらったところ、「オレンジがいい」とのこと。これで見えやすくなるはずです。

「せんくまジャンケン」は手札をじゃんけんで取り合うゲームで、最後に手札が一番多い人が勝ちです。何度かやってみたのですが、ルールは次の通りになることになりました。①まず、絵札をじゃんけんマークを裏にした状態で配る(余った札は山札とする)、②プレイヤーは配られた絵札を混ぜずにそのまま、上から出していく、③ジャンケンの合言葉は「せんくまジャンケン、じゃんけんほい(?)」、④勝ったひとがその場にだされた札を総取り、⑤独り勝ち以外は「あいこ」でそのままに貯めていく(次に勝った人が総取りできる)、⑥札がなくなればゲーム終了で、手元にもっている札が一番多い人が勝ち、⑦手元の札が同数の場合は、「せんくまジャンケン」で勝負をつける。5、6人でも楽しく遊べます。



「花笑み・せんなんめくり」のロゴ。それぞれの枚数を工夫して分配したので、大逆転のありのゲームです。

### 「花笑み・せんなんめくり」

絵を上にした絵札を、ひとつの山札にまとめ、裏側にある「花笑み・せんなん」のロゴの色2種と、ロゴなしの違いで「ぼうずめくり」の要領で遊びます。「ひめ」は「七色の花笑みロゴ」、「との」は「水ナス色の花笑みロゴ」、「ぼうず」は「ロゴなし」の絵札です。①絵を上にした絵札をひとまとめにする、②順番に1枚ずつ取る、③とった札が「との(水ナス色のロゴ)」の場合は自分のものにする、④とった札が「ぼうず(ロゴなし)」の場合は、持っている札をぜんぶ捨てる、⑤とった札が「ひめ(七色のロゴ)」の場合は、場に捨てられている札をぜんぶ自分のものにする、⑥山札がなくなればゲーム終了で、手元にもっている札が一番多い人が勝ち。⑦手元の札が同数の場合は「せんくまジャンケン」で勝負をつける。

### 多いもの勝ち!の3種競技の大会にする

ここまで考えたところで、大会は1/9のみとすることにしました。すべての遊びを楽しめる大会にすれば「誰でも楽しめる」からです。当日は、まずカルタ、次に「花笑み・せんなんめくり」、最後に「せんくまジャンケン」と各1回続けて実施。最後に「ごほうび(順位に応じて渡す景品)」が多い人から順位をつけることにしました。競技時間は練習も含めて各10分程度、おおよそ1時間のイベントです。

一緒にみたい方、大歓迎です  
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで  
TEL:072-483-6789  
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp

**【かるた大会の予定】**平成28年1月9日(土)  
13:30~14:30で予定しています。内容は、カルタ+「花笑み・せんなんめくり」+「せんくまジャンケン」の三種競技。詳細は広報せんなん1月号で告知予定です。

### 【これからは、出前でカルタ大会をサポート】

「カルタができてからが本番、カルタ完成後も活動を続けていきたい!」とのウレシイ意見がありました。活動の形としては、まずは出前でカルタ大会をサポートする組織作りをめざします。

\*カルタは市内の保育所、幼稚園、小中学校のほか、活用が見込まれる施設や団体に配布。個人的に必要な方は、販売する方法を考えています。